

経済統計 練習問題

第3回 全数調査と標本調査(1)

2016 年 9 月 28 日

問1 以下の文章を完成させよ。

統計調査には調査対象すべてを調査する{(a) 全数調査 (b) 標本調査}と、その一部を取り出して調査する{(a) 全数調査 (b) 標本調査}の2種類がある。

{(a) 全数調査 (b) 標本調査}には時間や費用が削減できるなどのメリットがあるが、抽出した標本ごとに結果が異なるという の問題がある。また、{(a) 全数調査 (b) 標本調査}には母集団のリストを作成する役割があるので、すべての調査を{(a) 全数調査 (b) 標本調査}とすることはできない。

世帯についての全数調査は国勢調査である。この調査は 年ごとに実施されるので、次回調査は 年である。

問2 国勢調査の結果、どのようなことがわかるか、以下の(あ)～(お)の中で、わかるものには○を、これだけではわからないものには×を解答欄に記入せよ。(平成22年調査の調査票をみて考えること。)

(あ) 山口県の20歳男性は何人か。

(い) 日本全体で通勤時間が45分以上の人はどれくらいいるか。

(う) 周南市内に住んでいる中学校の先生と、岩国市内に住んでいる中学校の先生はどちらが多いか。

(え) 山口県で一戸建てに住んでいる人の割合はいくらか。

(お) 下松市に住んでいる人の平均年収はいくらか。

(あ)	(い)	(う)	(え)	(お)